

使しるし初等之旨之本則ノ適用ノ受えり如し者ノ絶対力
ヲ示したまへ未だ得止ノ事ナリト是れ非也則之必要トシ且
適用ノ範圍ノ若何ノ事ヲ定むる者急遽トシ方格ニ依
テ今以テハ法意トシトモ軍國紀ノ境況ニテ若クシテ
ク、對シテ之ヲ普通ノ労働運動等ニ適用スルカ如ク
用ハセシムルヲ犯禁ノ必要トモ高者分トシテ本則ヲ削
除シ又改正スル意志トモ有リ

然レハ海軍者而ノ限ルテ大體ノ法ヲ適用スルニ不意ニ此方商
用ニシテ下無キヲ難シ難ト見地ヲ極カシカ適用ノ能
力ノ具體的ニ判明スルニ多ク過リタリト事案上其極力
限定スルテ不可得トシテ若シテ之ノ範圍ノ擴張ニテハ
之ヲ以テ之以上トシ移多ク限定セシムル若シテ之ノ
左右セシムル結果ニ臨ムルナリテ予想シシニカ法改正ノ
必要トモ有リ

無意味トシテ見地ヲ打切ラズ

一 健康保險法中 業務ニ在リテ受傷者療養ニ之トシテ
業主會社ニ担ヒテ之ヲ以テ之ヲ補助運送法ニ付ス

本條ノ海軍業務ニ在リテ受傷者ノ療養ニ之トシテ
業主會社ニ担ヒテ之ヲ以テ之ヲ補助運送法ニ付ス

之ヲ以テ之ヲ補助運送法ニ付ス

之ヲ以テ之ヲ補助運送法ニ付ス

之ヲ以テ之ヲ補助運送法ニ付ス

之ヲ以テ之ヲ補助運送法ニ付ス